

オンワードHD・早稲田大学初の産学連携イベント  
大隈講堂でトーク&ファッションショーを11月18日開催!

株式会社オンワードホールディングス(東京都中央区 代表取締役会長兼CEO:廣内武)と学校法人早稲田大学(東京都新宿区 総長:白井克彦)は、初めての取り組みとして、大学生などに向けて「グローバル化への対応」をテーマに、両者のトップマネジメントによるトークショーやファッションショーを主体とした産学連携イベントを、2008年11月18日(火)に早稲田大学大隈講堂にて開催します。

本産学連携イベントは、次代を担う若者に、普段の授業では学べない産業界の生の情報に触れる機会を与えて、その業界の理解を深めていただくことを目的としています。このことは、経済産業省が提唱している産学連携の一環でもあり、我が国の経済成長の鍵となる人材育成につながるものと考えています。

イベントテーマは「グローバル化への対応」とし、オンワードホールディングスと早稲田大学が、各々の領域で推進しているグローバル戦略について、トークショーとファッションショーの二部構成で演出します。第一部のトークショーでは、オンワードホールディングス代表取締役会長兼CEOの廣内武と早稲田大学総長の白井克彦が出演し、人材教育と企業経営に関するグローバル化への取り組みを紹介するとともに、未来の日本を展望するにあたり、大学と企業におけるグローバル化がいかに重要であるかなど、それぞれの業界でトップを走る両者の代表が意見を交わします。第二部のファッションショーでは、オンワードのグローバル戦略ブランド「JOSEPH」「iCB」の本格的なランウェイによるショーを行ない、メンズ & レディース合計50コーディネートを紹介いたします。

オンワードホールディングスでは、1972年に「世界は一つになる」との確信のもと、他社に先駆けて海外展開をスタート。ファッション先進都市で事業を行なうことで、人を育て、会社をグローバル化していこうと考えました。以来、グローバル戦略は当社のDNAとして脈々と受け継がれています。そして、今年度から、新たな成長軌道の確立を目指した、中期三カ年経営計画を策定。その重点施策の一つとして、3年後に海外売上高1,000億円を目標とする新たなグローバル戦略を推進しています。

早稲田大学では、昨年創立125周年を迎え、次なる125年に向けて、今後10年以内に世界で存在感を顕示できる、グローバルユニバーシティ「WASEDA」の確立を目指しています。今や環境問題、資源問題など人類共通の課題を考える上で、「国境を越えた真理」が必要です。多文化が共存・融合する知の基盤を構築し、多様な学問・文化・言語・精神が交流するグローバルキャンパスの実現に取り組んでいます。

- 実施形態 共催 株式会社オンワードホールディングス  
学校法人早稲田大学
- 日時 2008年11月18日(火)  
開場 14:00  
開演 14:40  
終了 16:00
- 場所 早稲田大学 大隈講堂(地図参照)
- 対象者 早稲田大学の学生を中心に約1,000名
- 概要 <第一部> 14:40~15:40  
トークショー テーマ「グローバル化への対応」  
出演者 オンワードホールディングス 代表取締役会長兼CEO 廣内武  
早稲田大学 総長 白井克彦

司会進行 八木亜希子(フリーアナウンサー／早稲田大学卒)

<第二部> 15:40～16:00

ファッションショー JOSEPH & iCB 08-09秋冬コレクション メンズ10体+レディ  
ス40体(予定)



このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いします  
オンワードホールディングス 広報マーケティング部 TEL 03-3272-2375  
早稲田大学 広報室 TEL 03-3202-5454

[▲ページTOPへ](#)